

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

1月25日

美しい阿寒摩周国立公園の魅力 「原始河川、阿寒摩周の大自然」を出版



二日市さん(左)藤さん(右)

本町在住の藤泰人さん、二日市壯さんによる「原始河川、阿寒摩周の大自然」(国書刊行会)がこのほど出版されました。原始河川とは釧路川を指し、阿寒摩周国立公園内の雄大な自然を、豊富なカラー写真とこの地域に住む人ならではの解説文で紹介しています。本書は2017年8月の阿寒摩周国立公園への名称変更を機に作成を開始。実際に釧路川をカヌーで下るなど、調査と撮影を重ねて編集されました。

2月13日

森や湖での研究成果を報告 玉川大学との共同研究成果報告会



研究成果を報告

平成30年度玉川大学との共同研究成果報告会「屈斜路湖周辺の生物相調査及び魚類資源への影響等調査」が行われました。

本町は平成21年度から玉川大学との共同研究を開始。平成27年5月には包括連携協定を締結し、相互協力の下で毎年調査を実施しています。今年度は5人の学生がそれぞれの研究成果を報告。ワイン事業やエゾリスによる残材の利用、屈斜路湖流入河川におけるサケ科魚類の種間関係などについての報告に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

2月1日

悪いものを追い払って春を迎えよう 節分の豆まき | おひさま保育園



鬼は外! 福は内!

おひさま保育園(渡邊亜子園長)で2月1日、節分の豆まきが行われました。

節分を迎えるこの時期に毎年行われています。初めに、節分に合わせてそれぞれの組で作った鬼のお面をお披露目。怖いお面やかわいいお面など園児の力作が並びました。続いて先生が節分や鬼についてのお話をし、豆まきの掛け声もみんなで確認。ピアノに合わせて豆まきの歌を終えたところで、太鼓の音とともに5匹の鬼が登場しました。泣いて逃げる子や果敢に豆を投げる子などさまざまでしたが、最後はどうか鬼退治に成功しました。

2月19日

弟子屈町地熱理解促進事業 てしかが地熱セミナーを開催



地熱の可能性を考える

町では、弟子屈町地熱理解促進事業として、てしかが地熱セミナーを2月19日、町福祉センターで開催しました。

町では、地域の資源である地熱や温泉を有効活用したまちづくりを進めるためにさまざまな調査や検討を行っています。セミナーでは、本町の地熱事業に携わる事業者4人を講師に招いて、地熱エネルギーが持つ大きな可能性や本町の地熱事業の状況などについて各20分ほどの講演を開催。町民の方などおよそ80人が参加し、熱心に耳を傾けました。

2月14日

卒業後の進路を考える 職種内容説明会を開催 | 弟子屈高校



熱心に耳を傾ける生徒の皆さん

弟子屈高校(宮崎円校長)で2月14日、職種内容説明会が開催され、同校の1年生が参加しました。

進路選択力の育成を図るために開催されたもの。病院や地方公共団体、建設会社などさまざまな分野から講師が招かれ、働く魅力についての講演を行ったほか、講師と生徒とでグループをつくり、働く魅力についてのディスカッションを行いました。ディスカッションの最後には、各グループの代表生徒が働く魅力とは何かについて発表。「責任をもつこと」や「人のためになること」などの意見が発表されました。

1月30日

考え方と受け止め方でストレス軽減 弟子屈町メンタルヘルス講習会を開催



多くの参加者が

町では、弟子屈町メンタルヘルス講習会を1月30日、町福祉センターで開催しました。

ストレス社会と言われている現代。交通事故死者は減少しているものの、うつや適応障害などでの自殺者の数は増加しています。考え方や自己表現の仕方を変え、ストレスと上手に付き合うための手段について、市立釧路総合病院の臨床心理士後藤薫氏が講演を行い、82人が参加。セルフ・ストレスチェックを交え、自分に合ったストレス対処法を実践的に学びました。

1月29日

松阪市での学びを報告 松阪市交流事業町長報告会



緊張しながら町長へ報告

松阪市・弟子屈町小学生交流事業で三重県松阪市を訪問した児童7人が1月29日、徳永町長へ報告を行いました。

今回の訪問旅行は、北海道命名150年・松浦武四郎弟子屈町来訪160年目の記念となることを機に、児童がお互いの地域について理解を深め合うことを目的に実施されたもの。児童らは3日間の松阪市訪問で松浦武四郎について学び、小野江小学校の児童と交流を深め、松阪市の竹上市長にも面会。「学んだことを弟子屈の皆さんに報告して、自分たちも成長していきたい」と元気に報告を行いました。

2月21日

いつまでも健康でいきいきと生活するために 標津町・弟子屈町 いきいき百歳体操交流会



笑顔があふれる意見交換に

標津町・弟子屈町いきいき百歳体操交流会が2月21日、弟子屈町地域交流ホール(老人ホーム倭和園横)で開催されました。

この交流会は、両町で行われている「いきいき百歳体操」参加者同士の交流を深めることを目的に開催されたもので、標津町から34人、当町からは29人が参加。それぞれのまちの保健師から、活動の様子がスライドや動画などで紹介されたあと、各グループに分かれ、意見交換を行いました。グループからの発表では「体操をやって体が楽になった」「仲間ができたし、もっと増やしたい」などの意見が出ていました。

2月20日

特殊詐欺被害を防止 セブンイレブン店員金川さんに感謝状



感謝状を受け取る

来店客への適切な声掛けなどにより、特殊詐欺被害を防止したとして、2月20日、セブンイレブン弟子屈中央店の金川奈美子さんに弟子屈警察署から感謝状が贈られました。

金川さんは2月15日の昼ごろ、高額な電子マネーを購入しようとした来店客に声をかけ「電話で指示されて来た。支払わないとブラックリストに載ってしまう」などの話を聞き、すぐに警察へ通報。金川さんは「感謝状を支えに頑張ります。お客さまから気軽に相談される店になりたい」と話していました。

1月31日

北海道ならではの観光列車運行へ JR 釧網本線で観光列車モニターツアーを開催



摩周駅では皆さんの見送りの

北海道と北海道鉄道活性化協議会が実施する北海道観光列車のモニターツアー「純白冬紀行 釧網本線」が1月31日、JR 釧網本線で実施されました。ツアーにはアジア圏を中心に観光客100人が参加。観光地の見学やイベントなどを楽しみました。この事業は、訪日外国人観光客の道内周遊の促進や交流人口の増加を目的に開催されたもので、川湯温泉駅では、横断幕を掲げて皆さんを歓迎。駅前では、雪玉当てゲームなどが行われ、参加者の皆さんは歓声を上げて楽しんでいました。

1月30日

便利さの裏の危険さを知る 携帯安全教室を開催 | 弟子屈高校



気軽に利用者の多いSNS

弟子屈高校(宮崎円校長)で1月30日、携帯電話、スマートフォンの安全な使い方を学ぶ携帯安全教室が開催されました。

NTTドコモスマホ・ケータイ安全教室インストラクターの加藤さち子さんを講師に招き、全校生徒を対象に開催。若い世代を中心に広く利用されているSNSやコミュニケーションアプリを使用する上で気をつけるべき点について、スライドや再現ドラマを使ったわかりやすい講義が行われ、楽しく便利な携帯電話も少しの手違いや見落としで大きなトラブルに繋がるとの説明に、生徒の皆さんは真剣に聞き入っていました。